

## 日本電気株式会社（NEC）が発行する 「サステナビリティ・リンク・ボンド」への投資について

### 記

浜松いわた信用金庫（理事長 高柳 裕久）は、このたび、日本電気株式会社（NEC）（以下「同社」）が発行するサステナビリティ・リンク・ボンド（以下「本債券」）に投資したことをお知らせします。

「サステナビリティ・リンク・ボンド」とは、あらかじめ定められたサステナビリティ/ESG の目標を達成するかどうかによって条件が変化する債券のことを指します。発行体があらかじめ定めた重要な評価指標とサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）によって評価され、発行体に SPTs 達成に向けた動機付けを与える債券です。

本債券の発行条件と連動する SPTs としては、「2030 年度における Scope1,2<sup>注1)</sup>の CO<sub>2</sub> 排出量を 54.6%削減（2017 年度比）」および「CDP<sup>注2)</sup>気候変動の最終スコア『A』の維持」を設定しています。本投資を通じて同社の SPTs 達成に向けた取り組みを支援することで、環境課題解決への活動が推進され、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成にも貢献するものです。

浜松いわた信用金庫は、今後もさまざまな取り組みを通じて、SDGs の達成に貢献できるよう努めてまいります。

#### <本債券の概要>

発行体	日本電気株式会社
年限	10年
発行額	300億円
発行日	2022年7月12日

注 1) Scope1：建設作業所における重機の軽油等の使用により直接排出される GHG 排出量など

Scope2：オフィス等における購入した電気・熱の使用により発電所で間接的に排出される GHG 排出量など

注 2) CDP：企業の環境活動に関する情報開示と行動を促すことを目的として 2000 年に設立された英国の NPO。投資家やサプライヤーの要請を受けて、気候変動、水セキュリティ、フォレストの 3 種類の質問書を企業に配布・回収・集計し、評価している。

以上